

第86期 株主通信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



Produce
The Future



株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第86期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

中島 浩二



第86期の業績

当期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの弱さが見られ、個人消費の回復の遅れに加え、年明けからの急激な円高進行による企業業績への悪影響や、中国をはじめとする新興国経済の減速による海外景気の下振れ懸念などから、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当期業績は、売上高は前期比2,800百万円、1.8%減収の151,639百万円となりました。売上総利益は、前期比590百万円、4.1%減益の13,657百万円、営業利益は、前期比64百万円、5.5%増益の1,228百万円、経常利益は、前期比36百万円、3.6%減益の975

百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比185百万円、32.9%増益の749百万円となりました。

第86期業績

売上高	151,639百万円	前期比	△1.8%
営業利益	1,228百万円	前期比	5.5%
経常利益	975百万円	前期比	△3.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	749百万円	前期比	32.9%

次期の見通し

今後の経営環境につきましては、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、当社グループは、海外事業の拡大と収益性の向上を重点施策とし、各事業の採算とリスクの管理を徹底することで、収益基盤の強化と財務体質の改善を進めてまいります。

(2020年ビジョン)

当社グループでは、成長路線への転換を図るため、2020年ビジョンを「ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する。」と決めました。

このビジョンにもとづき、『世界で稼ぐ力』を強化するとともに事業の選択と集中を加速してまいります。

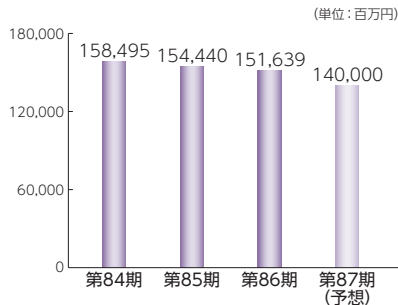
※ニッチな分野とは、メーカーが直接攻めにくく、他社社の追随を許さない、当社グループが得意としている商材や事業をいいます。

第87期業績予想

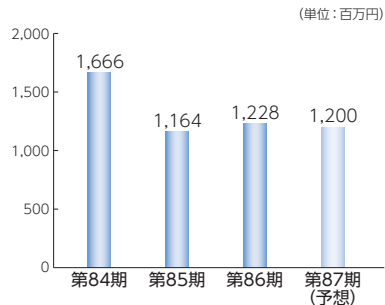
売上高	140,000百万円
営業利益	1,200百万円
経常利益	1,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000百万円

業績の推移(連結)

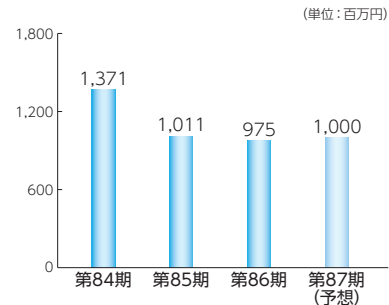
売上高



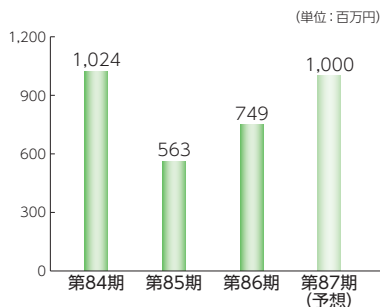
営業利益



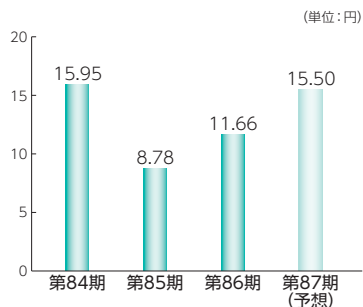
経常利益



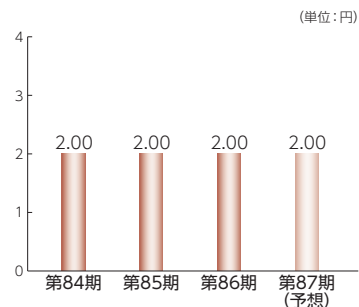
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金



セグメント別概況

繊維事業

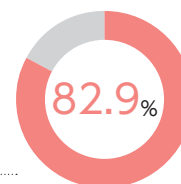
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

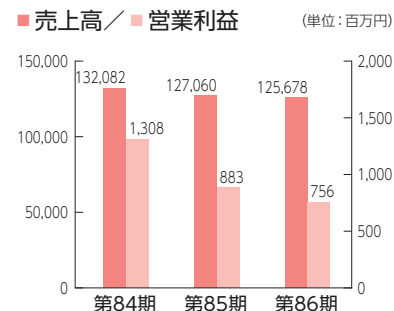


売上高	125,678百万円	
前期比		△1.1%
営業利益	756百万円	
前期比		△14.5%

売上構成比



- インナー関連は、機能性の高い原糸および生地が増収となりましたが、利益率は低下しました。製品の取引は、企画提案型・OEMともに減少しました。また、ソックスも、低採算取引の見直しにより輸入が減少しました。
- アウター関連は、米国アパレル向けの生地輸出の取引が堅調に推移し、製品のOEM取引は、アウトドア向けやレディース向けが伸長しました。一方、婦人アパレル事業は販売が伸びず苦戦しました。



工業製品事業

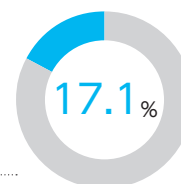
主要商品：

化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品 他

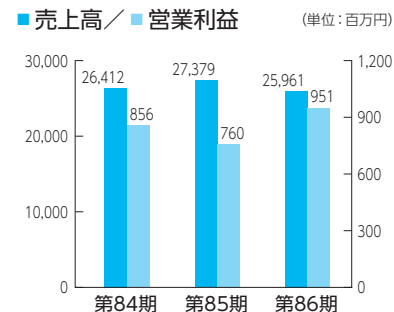


売上高	25,961百万円	
前期比		△5.2%
営業利益	951百万円	
前期比		25.1%

売上構成比



- 半導体関連の部材は、市況の悪化を受けてウエハの取り扱いが減少しました。また、理化学機器は前年並みとなりました。
- 塗料・樹脂の添加剤は、欧米やアジア向けが好調に推移し、米国における半導体用途の化学製品の取引や化粧品原料も堅調に推移しました。一方、フィルムは、競争激化により減少しました。
- ホビー関連商品は、プラモデル用塗料や塗装用器具が堅調に推移しました。
- ナノテクノロジー事業は、塗料、複合材料、燃料電池の分野において事業化を促進しています。



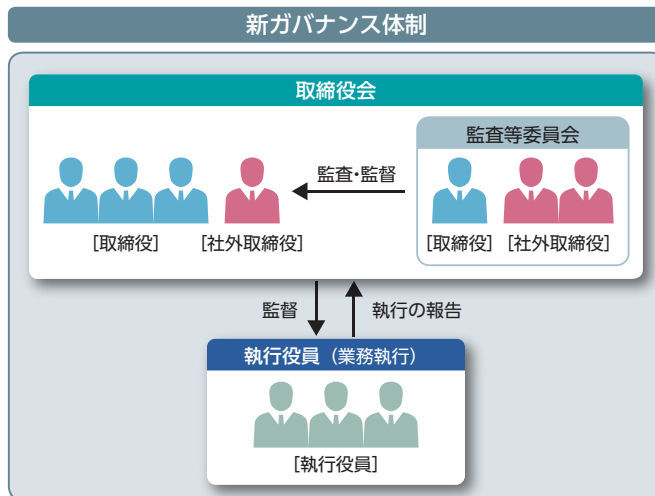
「監査等委員会設置会社」への移行と「執行役員制度」の導入 －コーポレート・ガバナンス体制のさらなる充実に向けて－

当社は、コーポレート・ガバナンス体制のさらなる充実を図るため、本年6月29日に「監査等委員会設置会社」に移行するとともに「執行役員制度」を導入しました。

新たなガバナンス体制では、取締役である監査等委員を置くことにより取締役会の監督機能を一層強化することに加え、執行役員制度を導入することにより経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離することで、意思決定の迅速化・効率化および機動的・戦略的な経営体制を実現してまいります。

監査等委員会設置会社の特徴

- ・ 監査等委員会は、3名以上の監査等委員である取締役で構成する（任期は2年、過半数が社外取締役）。
- ・ 株主総会において取締役の指名・報酬等に関する意見陳述権を有する。
- ・ 重要な業務執行の決定を取締役に委任することができる。



機能性材料の総合展示会「新機能性材料展」に出展 －塗料・インク・接着剤用添加剤分野でのグローバルニッチトップを目指して－

当社は、本年1月に東京ビッグサイトで開催された、機能性材料の総合展示会である「新機能性材料展」において欧米製の塗料・インク・接着剤用添加剤を出展しました。



展示ブースの様子

防錆性や撥水性を向上させるなど、優れた機能を有する各商品に対する来場者の反応は上々で、なかでも、塗料などに混ぜることで基材（木・鉄・プラスチック等）への密着性を向上させる、米国製の添加剤に注目が集まりました。



注目を集めた米国チャートウェル社製の添加剤

当社は、これまで、日本製添加剤の輸出に注力してきており、今後も当社現地法人と連携し、海外への販路拡大を加速してまいります。同時に、世界各地の有望な商品を発掘し日本市場での拡販を図ることにより、塗料・インク・接着剤用添加剤分野でのグローバルニッチトップを目指してまいります。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期	
	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在	
資産の部	流動資産	58,066	54,331
	固定資産	10,140	11,553
	有形固定資産	3,646	4,696
	無形固定資産	813	899
	投資その他の資産	5,680	5,958
資産合計	68,206	65,885	
負債の部	流動負債	50,992	48,199
	固定負債	1,305	1,624
負債合計	52,297	49,823	
純資産の部	株主資本	15,718	15,282
	その他の包括利益累計額	190	729
	非支配株主持分	—	49
純資産合計	15,908	16,061	
負債純資産合計	68,206	65,885	

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

売上債権の増加等により、前期末比2,320百万円の増加

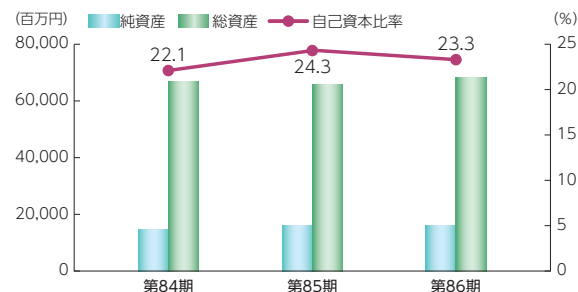
負債

仕入債務の増加等により、前期末比2,473百万円の増加

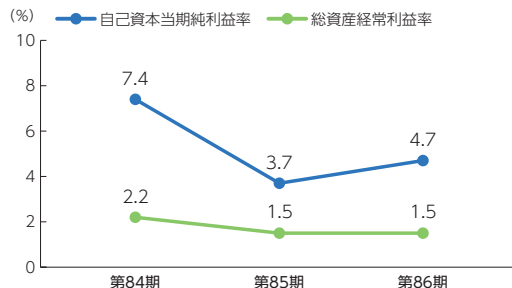
純資産

株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益等により増加したものの、その他の包括利益累計額の減少により、前期末比152百万円の減少

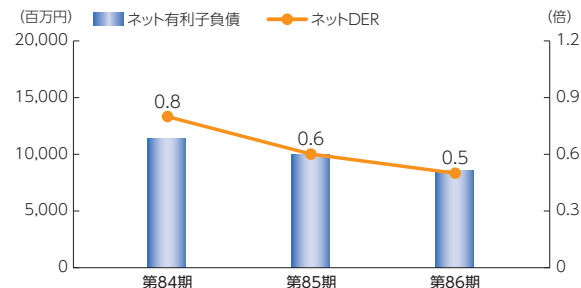
純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



自己資本当期純利益率(%)／総資産経常利益率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

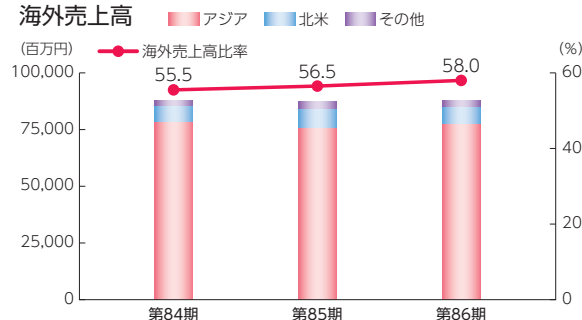
科目	当期	前期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
売上高	151,639	154,440
売上原価	137,982	140,191
売上総利益	13,657	14,248
販売費及び一般管理費	12,428	13,083
営業利益	1,228	1,164
営業外収益	161	280
営業外費用	414	433
経常利益	975	1,011
特別利益	636	517
特別損失	658	460
税金等調整前当期純利益	953	1,069
法人税等合計	203	504
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	749	563

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

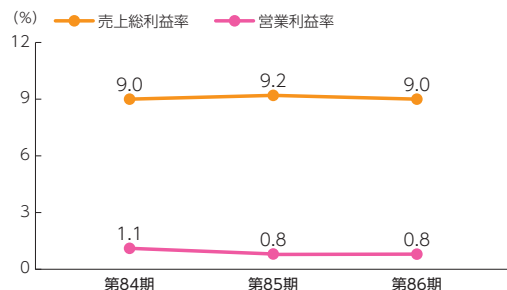
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成26年4月1日～ 平成27年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,344	2,178
投資活動による キャッシュ・フロー	611	△7
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,261	△2,151
現金及び現金同等物の 期末残高	9,037	8,423

海外売上高



売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益や仕入債務の増加等により、1,344百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入等により、611百万円の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済等により、1,261百万円の減少

会社概要

会社の概要 (平成28年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	603名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	18ヶ所
連結子会社	国内 8社	海外	8社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp		

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

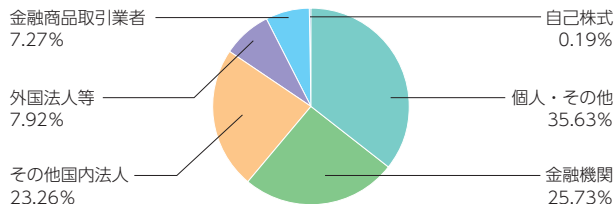
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式119,618株を含む)
株主数	5,614名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.45
株式会社みずほ銀行	3,182	4.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.92
日本生命保険相互会社	2,328	3.61
株式会社SBI証券	2,099	3.25
東レ株式会社	1,982	3.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,547	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,098	1.70
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	833	1.29
ML INTL EQUITY DERIVATIVES	740	1.15

(注) 持株比率については、自己株式(119,618株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



取締役・執行役員 (平成28年6月29日現在)

取締役

代表取締役社長 社長執行役員	中島 浩二
常務取締役 常務執行役員	松下 康彦
常務取締役 常務執行役員	吉永 直明
常務取締役 常務執行役員	中山 正輝
取締役 執行役員	荒木 靖司
取締役 執行役員	新美 一夫
取締役 執行役員	大西 文博
社外取締役	岩田 紀治

<監査等委員>

取締役	浅野 幹雄
社外取締役	金井 博芳
社外取締役	後藤 芳浩

(注) 浅野幹雄は、常勤の監査等委員であります。

執行役員

宮崎 晃一	大賀 浩司
松尾 慶彰	森田 雅彦
西村 裕樹	鈴木 恵太

株主メモ

証券コード 8101

上場証券取引所 東京

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告

当社のホームページに掲載いたします。
公告掲載アドレス <http://www.gsi.co.jp/ir/notice>
(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

